



【 立山登山への挑戦・立山登山の価値 】

○ 今朝、私は久しぶりに6年生がグラウンドを走っている姿を見ました。私は、6年生の姿を見ていると、「雄山まで登るぞ!」という**強い信念**がうかがえます。ダラダラと走っている子供はおらず、**目的意識をもって真剣**に走っています。この6年生の意気込みに大きな拍手を送りたいと思います。1限目は、学年集会で、しおりを見ながら立山登山についての説明を聞いていました。



○ 一昨年度から、コロナ禍で多くの学校が立山登山を中止しています。そして、コロナ過で、立山登山そのものも見直す学校も増えてきたと聞いています。「何十人も連れて立山登山をすることにリスクがあり過ぎないか。」「学校で立山登山をする意味は何か。」「立山登山に代わる教育活動があるのではないか。」など、**今まで当たり前に行ってきた立山登山の見直し**が図られている傾向にあります。



○ 確かに再考すべきことです。しかし、今年度の本校では、ステージ2や感染者の大幅な増加等になると変更はしますが、現状では立山登山を前向きに実施する予定です。私はこれまで、みんなで励まし合ったり協力したりしながら立山を登る美しく、頼もしい姿を見てきて、子供たちに「**集団としての高まりを実感してほしい**」と思っています。また、「**立山というあの雄大な自然を肌で感じてほしい**」と思っています。立山は個人では簡単に行ける所ではありません。さらには、「**登頂した時の達成感を感じ取ってほしい**」と思っています。朝、グラウンドを走る子供のあの真剣な姿を見ると、目的をかなえ、「やったぞ!」という瞬間を感じさせてやりたく思うのです。

○ この後、コロナ感染の状況はどう変化するか予測困難です。キャンセル料や準備等の都合で、盆前には決定する予定です。繰り返しますが、前向きに実施する方向です。ただし、コロナの状況によっては、中止、延期、変更等を行います。このような旨をご理解願いたいと思います。